

サステナビリティへの取り組み

群馬銀行グループ SDGs 宣言

2019年2月に策定し、2022年4月に改定した「群馬銀行グループ SDGs 宣言」では、当行グループの事業内容や営業エリアから、特に貢献が可能な SDGs 10 目標を中心に4つの重点課題を定め、事業活動を通じた社会・環境課題等への取り組みを進めています。





また、当行グループは、パーパス「私たちは『つなぐ』力で 地域の未来をつむぎます」の実現に取り組んでいくことが、SDGs 達成への貢献および持続的な社会の実現と経済的価値の創造につながっていくと考えています。



群馬銀行グループ SDGs 宣言 (GB Sustainability Policy 2030)

私たちは、地域社会の発展を常に考えた事業活動の推進を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に努めてまいります。



重点課題	取組方針	主な取組み
地域経済の持続的発展	地域の事業者の皆さまの成長支援や、地域活性化に向けた取組みを充実させるとともに、お客さまの多様なニーズに応じた金融サービスの提供により、地域経済の持続的な発展をサポートします。次世代の担い手を育成するため、地域の皆さまの金融リテラシー向上に向けた金融経済教育の充実や、持続可能なインフラ構築に向けた地域産業のイノベーション支援に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業承継課題への網羅的な取組み ● 資産形成や資産承継等に資する金融サービスの提供 ● 高校や大学等での金融経済教育の実施 ● グループ会社による出資とハンズオン支援を通じた地域活性化への貢献 
地球環境の保全と創造	環境保全や美しい環境の創造に取り組むお客さまの支援や、私たちの事業における環境負荷の低減に努めるとともに、気候変動対策の充実に取組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「温室効果ガス排出量 2030 年度ネットゼロ」に向けた取組み ● サステナブルファイナンスの推進 ● お客さまの脱炭素化の支援 ● ぐんぎん財団を通じた環境保全活動支援 
多様な人材の活躍推進	女性や若年層、シニア層などすべての職員が生き生きと活躍できる職場づくりに向けて、役職員の多様性を高め、その活躍に向けた育成や柔軟な働き方の実現に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「L-NEXT」(女性活躍促進チーム)などダイバーシティ&インクルージョンの推進に向けた取組み ● 役職員一人ひとりの Well-being の向上に向けた取組み 
パートナーシップの推進	地方公共団体や法人、個人のお客さまなどとのパートナーシップにより、地域全体で持続可能な社会の実現に向けて取組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ● ぐんぎん SDGs 私募債による啓蒙と SDGs に資する活動支援 ● 地方公共団体等との連携による地域全体での SDGs 推進 

環境方針

群馬銀行は、2009年5月に制定・公表した「群馬銀行環境方針・環境行動基準」に基づき、自ら環境負荷の低減に取り組むとともに、事業活動を通じて環境保護に貢献できる金融商品・サービスを提供するほか、ぐんぎん財団を通じて環境保全活動の支援や環境保全教育を実施するなど、環境保全に関する取り組みを続けています。

※詳細については、こちらよりご覧いただけます。



気候変動への取組み

群馬銀行は、「群馬銀行グループSDGs宣言」の重点課題の1つである「地球環境の保全と創造」に向けた取組みとして、2020年7月にTCFD提言への賛同を表明し、気候変動が当行の経営にもたらす影響等の分析を実施するとともに、当行の温室効果ガス排出量削減や脱炭素化に取組むお客さまへの支援を行っています。

地域の基幹産業である自動車セクターについては、電動化等の急速な進展により取り巻く環境が大きく変化していることから、移行リスクの対象セクターとしてシナリオ分析を行っています。また、地域の自動車サプライヤーに対する個別のエンゲージメントを通じて、各サプライヤーに応じた中長期的な伴走支援に取組んでいます。

気候変動への取組みを強化することで、地域の未来をつむいでいきたいと考えています。



※詳細については、こちらよりご覧いただけます。

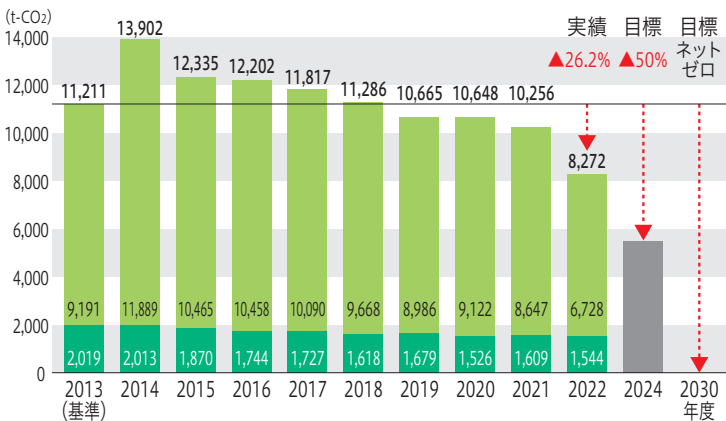
温室効果ガス排出量

脱炭素社会の実現や社会の持続的発展に貢献していくため、当行における温室効果ガス排出量削減目標を設定しています。2022年度の温室効果ガス排出量は、8,272t-CO₂であり、2013年度比26.2%の削減となりました。当行ではこれまで、当行本店ビルや電算センターの電力をすべて再生可能エネルギー由来の電力に切り替え、電力使用に伴う温室効果ガス排出量実質ゼロの建物としております。

今後も、店舗へのPPAによる太陽光発電設備設置やネーミングライツを取得した「ぐんぎん尾瀬片品発電所」により、再生可能エネルギーの地産地消に取組んでいきます。また、当行では、温室効果ガス排出量の計測範囲の拡大に向けて取組んでおり、今年度、当行行員の出張・通勤および投融資に伴う排出量の試算を行いました。今後も、計測範囲の拡大等の検討を進めてまいります。

【温室効果ガス排出量】

- スコープ1: 当行自らによる直接排出(重油、都市ガス、ガソリン等)
 - スコープ2: 他社から供給されたエネルギー使用による間接排出(電気、冷水、蒸気等)
- ※省エネ法の定期報告書の基準に準拠し算出。ガソリンにおける排出量は、年間平均ガソリン単価、排出計数を用いて算出。



※温室効果ガス排出量の算出範囲は、当行国内拠点におけるスコープ1、スコープ2

(単位: t-CO₂)

計測項目		2021年度	2022年度
スコープ3	カテゴリ1の一部 (コピー用紙購入)	263	249
	カテゴリ6 (出張)	43	58
	カテゴリ7 (通勤)	1,069	1,013
	カテゴリ15 (投融資)	-	8,796,632

目標

2024年度 2013年度比50%削減
2030年度 ネットゼロ

主な取組み

2022年 4月	本店ビルの電力をすべて再生可能エネルギー由来の電力に切り替え
11月	全店 (一部対象外店舗を除く) に電気自動車導入を決定。順次導入中
2023年 4月	電算センターの電力をすべて再生可能エネルギー由来の電力に切り替え
10月	高崎田町支店の PPA 電力供給開始予定
2024年 1月	北毛地区9店舗における全使用電力、および電算センターの一部電力を「ぐんぎん尾瀬片品発電所」由来の再生可能エネルギーに切り替え予定

【計測方法】

計測にあたっては、環境省・経済産業省「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.5)」および、環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (ver.3.3)」を使用。

カテゴリ15については、PCAFスタンダードの計測手法に基づき試算。

かんとう YAWARAGI エネルギー株式会社

再生可能エネルギーを通じて地域の脱炭素化を図る

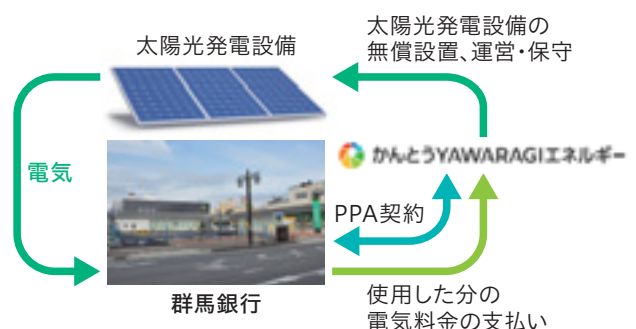
2022年7月、100%出資子会社であるぐんま地域共創パートナーズ株式会社が運営するファンドを通じて、地域発電会社「かんとう YAWARAGI エネルギー株式会社」を地域の事業者と共同で設立しました。

当社の設立目的は、再生可能エネルギー電源の開発事業を通じ、地域の脱炭素化に貢献していくことです。

当行では当社と PPA[※]契約を締結し、当行高崎田町支店と第四北越銀行高崎支店による共同店舗の屋上への太陽光発電設備の設置を進めています。

※ PPA: Power Purchase Agreement (電力販売契約) の略。企業 (電力需要家) の屋根や遊休地に発電事業者が無償で発電設備を設置し、発電した電気を企業が使用することで、需要家が発電設備を保有することなく再生可能エネルギー利用が実現できる仕組み。発電設備が需要家の敷地内 (オンサイト) にあるスキームを、オンサイト PPA という。

【オンサイト PPA スキーム図】



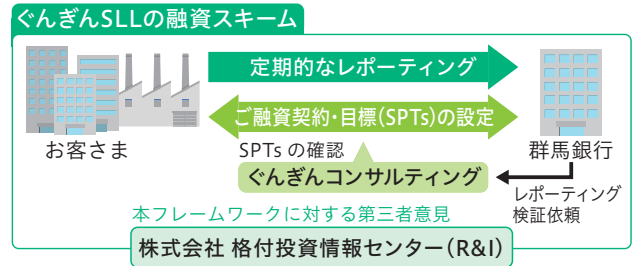
サステナブルファイナンスへの取組み

気候変動や人口減少等の社会課題への対応が急務となるなかで、社会課題の解決に資する資金やアドバイスを提供する金融（サステナブルファイナンス）の重要性が高まっています。

当行は、2030年度までのKPIとして中長期的なサステナブルファイナンス累計実行額目標を設定し、お客さまのフェーズに合わせた適切なアクションを行い、サステナビリティ・リンク・ローンやぐんぎんSLL、事業承継を切り口としたストラクチャー付コベナンツ融資、SDGs 私募債、再生可能エネルギー事業向け融資、震災時・豪雨災害時元本免除特約付き融資などのサステナブルファイナンスや各種ビジネスマッチングにつなげていきます。

「ぐんぎんSLL」

2022年6月、お客さまのSDGsやESG戦略に整合した取組目標であるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）を設定し、その達成状況に応じて、金利が変動する仕組みの融資商品である自行評価型サステナビリティ・リンク・ローン「ぐんぎんSLL」の取扱いを開始しました。



「自動車セクター」への取組み

自動車産業を取り巻く環境の急速な変化

自動車産業を取り巻く環境は、電動化の急速な進展など大きく変化しており、地域のサプライヤーも取扱製品の電動化対応や、製造過程における温室効果ガス排出量削減、さらには部品点数減少に伴う新分野への進出、業態転換など、さまざまな対応に迫られつつあります。

取引先のサポート態勢を拡充し中長期的な伴走支援

当行では、自動車関連産業の持続可能性の向上に向けて、自動車メーカーOBの招聘などによるサポート態勢の拡充や県内サプライヤーのデータベースの構築、

SUBARU系サプライヤーを中心とした、各社の保有技術・設備や特性などの個別ヒアリングを実施してきました。

また、2022年度には環境省「令和4年度ESG地域金融促進事業」の支援策金融機関として採択され、ヒアリング結果を踏まえたお客さまとの課題共有に向けた支援を受けました。

今後も、電動化への対応や生産性向上に向けたサポートなど、各サプライヤーに応じた中長期的な支援に向け、外部機関とも的確に連携して取組んでいきます。

SDGs 取組支援サービス

2022年9月より、お客さまのSDGsへの取組状況を評価する「SDGs取組支援サービス」を取扱開始しました。所定の「ヒアリングシート」を通してお客さまのSDGsの取組状況を客観的に評価し、「フィードバックシート」によりお客さまの「強み」と「弱み」を明らかにするものです。これまでに181社にご利用いただいています。（2023年3月末現在）

SDGsの理解・必要性啓発	SDGs 取組支援サービス				
	環境	人権・労働	公正な事業慣行 組織体制	製品 サービス	社会貢献 地域貢献
課題解決に「つなぐ」ソリューション提案	●ヒアリングシートに基づき、現状の取組状況を確認				
	●フィードバックシートにて取引先と対話を行い、課題等を把握				
	●取引先の事業に応じた「SDGs宣言書」の策定を支援				
	●取組姿勢の表明により「社会的信頼」と「従業員満足の向上」に貢献				
	項目	主な内容			グループ会社
	SDGs 関連コンサルティング	SDGsに関するKPIの設定、研修等			ぐんぎんコンサルティング
	脱炭素関連				
	温室効果ガス排出量測定・可視化	温室効果ガス排出量可視化クラウドサービス			
	カーボン・オフセット	J-クレジットの購入			
	再生可能エネルギー設備導入	太陽光設備等導入支援			
その他社会課題解決に資する支援					
事業承継	事業承継計画策定支援 資本金の供給、ハンズオン支援			ぐんぎんコンサルティング ぐんま地域共創パートナーズ	
ハイレベル人材の採用	人材紹介業務			ぐんぎんコンサルティング	
BCPコンサルティング	BCP策定支援、BCP訓練の実施支援				
人事労務・人材育成研修	人事労務規定の策定、人材育成研修			ぐんぎんコンサルティング	
需要予測サービス	気象や販売データ等を用いた需要予測				
ソリューション提案に基づいたファイナンス・補助金等	サステナブルファイナンス	サステナビリティ・リンク・ローン、ぐんぎんSLL 事業承継を切り口としたストラクチャー付コベナンツ融資、SDGs 私募債 再生可能エネルギー事業向け融資 震災時・豪雨災害時元本免除特約付き融資、等			
	補助金サポート	工事・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業 省エネルギー投資促進支援事業費補助金 太陽光発電設備等の価格低減促進事業			
	利子補給	省エネルギー設備投資に係る利子補給金			

社会貢献活動

ぐんぎん財団の取組み

1995年に設立した「群馬銀行環境財団」は2022年11月に「ぐんぎん財団」へ名称を変更し、従来の「環境保全事業」に加え「社会福祉事業」にも取り組んでいます。

助成活動として「ぐんぎん財団環境教育賞」「ぐんぎん財団環境賞」の表彰、啓発活動として「エコ・キッズ・キャンプ」「環境探検隊」を実施しています。

また「みんなでつなぐ 未来プロジェクト～ Everyone has a dream～」を実施し、毎年テーマを決めて地域の豊かな未来につながる活動を支援しています。2022年度はこども食堂への支援をテーマとし、「こども食堂ネットワークぐんま」へ300万円の寄付を行いました。

今後も事業活動を通して、地域社会の持続的発展に寄与してまいります。

生物多様性への取組み

「ぐんぎんの森」整備活動

2011年から環境保全活動の一環として、群馬県と締結した「県有林整備パートナー事業実施協定」により指定された森林を「ぐんぎんの森」と命名し、その整備・保全活動に取り組んでいます。また、新入行員研修の一環として森林保全活動を体験し、啓発を行っています。

尾瀬保護財団への寄付

当行と委託会社が受領する信託報酬の一部を尾瀬の環境保全活動を行う尾瀬保護財団に寄付する自然環境保護ファンド「尾瀬紀行」を取扱っています。また、株主優待「寄付コース」による同財団への寄付も取扱っています。

●群馬銀行グループによる尾瀬保護財団への寄付累計額
…18,217千円

その他の取組み

金融教育への支援

群馬大学への講師派遣

2017年度より群馬大学との連携講座を実施しています。2022年度は講師3名を派遣し、金融リテラシーについて講義を行いました。

「金融教育授業」の実施

地域の金融リテラシー向上に貢献するため、学校に赴き行員による金融教育授業を行っています。

また、高校生を対象に、若手行員の研修の一環としても実施しています。(2022年度はオンラインで実施)

小中学生・高校生の体験学習の受入れ

地域の小中学校の児童・生徒の体験学習を各営業店で、高校生の企業見学を本店で受け入れています。

エコノミクス甲子園

高校生が楽しみながら金融経済に触れ、金融知力を身につける機会を提供するため、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の群馬大会を主催しています。

芸術・文化活動への支援

群馬交響楽団に対し、定期演奏会を協賛するなど活動を支援しています。

なお、群馬交響楽団は地域社会に密着した芸術活動を行っており、定期演奏会のほか、小中学生を対象とした移動音楽教室を開催するなど、地方における音楽文化の向上に貢献しています。

スポーツ活動への支援

バレーボールのVリーグ女子2部(V2)に参戦している「群馬銀行グリーンウイングス」は、昨シーズン準優勝(2季連続)を果たしました。他にも、バレーボール教室などを通して地域社会への貢献活動も積極的に行っています。

また、当行は毎年11月に行われる「ぐんまマラソン」を協賛し、地域のスポーツイベントの支援も行っています。

群馬県世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金への寄付

当行と委託会社が受領する信託報酬の一部を世界文化遺産「富岡製糸場・絹産業遺産群」の保護活動のために寄付を行う投資信託「群馬の絹遺産」を取扱っています。また、株主優待「寄付コース」による基金への寄付も取扱っています。

●群馬銀行グループによる群馬県世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金への寄付累計額…9,298千円



【群馬銀行グリーンウイングス】
2022-23シーズン